

がん検診を受けよう！ 9月はがん征圧月間です！

保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

皆さんは定期的にごがん検診を受けていますか？

がんは、日本人の2人に1人がかかり、3人に1人が亡くなる日本人の死因第1位の疾患です。本市でも死因の第1位で、21.5%の人ががんで亡くなっています。(平成30年度広島県人口動態調査)

がんは特別な病気ではなく、誰がかかってもおかしくない身近な病気なのです。

【がんができるしくみ】

人間の体は細胞できています。そして細胞は常に新しく生まれ変わっています。

細胞は新しく生まれ変わるたびに、細胞の設計図となる遺伝子をコピーして作られています。時々コピーミスされた細胞が作られます。それががん細胞です。

体が元気な時は、がん細胞

ができて免疫細胞が壊すため、問題ありません。しかし、

がん細胞が壊されない状態が続くと、がん細胞が細胞分裂を繰り返してがん細胞の塊ができ、がんとなります。

がんはその後大きくなり続け、血管の壁を破ります。そして、血液の流れに乗って、がん細胞が全身に散らばります。それを転移といいます。転移してしまうと治療が難しくなるため、早期に発見・治療することが大切です。

【がん検診とは】

がんを早期に見出し、治療につなげることを目的に行う検診です。

部位によって検査方法や受診の間隔は異なりますが、本市では6種類のがん検診を行っています。

種類	対象者	検査方法
肺がん	40歳以上	胸部X線検査
胃がん		胃部X線検査 ※人間ドックの場合は胃内視鏡検査の医療機関もあり
大腸がん		検便2日法(便潜血検査)
乳がん	40歳以上の女性	マンモグラフィ(+視触診) ※2年に1回
子宮頸がん	20歳以上の女性	子宮頸部細胞診
前立腺がん	50歳以上の男性	血液検査

がん検診の結果が「要精密検査」となっただけで、「がんがある」というわけではありません。がん検診で分かるのは、「がんの疑いがあるかどうか」です。本当にがんがあるかどうかは、さらに詳しい検査を受ける必要があります。精密検査が必要と診断されたら、必ず受けるようにしましょう。

【がん検診は定期的に受けましょう】

一つのがん細胞が検診で見つけることができる1センチ程度の大きさになるまで、10〜15年かかりますが、1センチのがんが2センチ(進行した状態)になるまでは、わずか1〜2年です。つまり、がんを早期で発見するために、検診を1〜2年ごとに受

ける必要があります。また、がんは早期発見・治療ができれば、5年後の生存率が飛躍的に高まりますが、早期がんの時は、自覚症状がほとんどありません。自覚症状がない人こそががん検診に行きましょう。

【がん検診の予定】

ショッピングセンターがん検診(乳・子宮)

- 10月2日 トーエイ(東城町)
- 10月23日 庄原ショッピングセンタージョイフル

集団健診(肺・胃・大腸・乳・子宮・前立腺)

- 11月4〜5日 庄原保健福祉センター
- 令和4年3月まで 西城市民病院

※日程が変更になることがあります。

がん検診の予約

電話・インターネットでお申し込みください。

☎0120-489-487

【受付日時】9時〜17時 月〜金曜日(祝日除く)

インターネット

<https://www.aitel-reservation.jp/shobaracity-hiroshima/>

